

特集①

Special feature

第22回

景況感調査アンケート

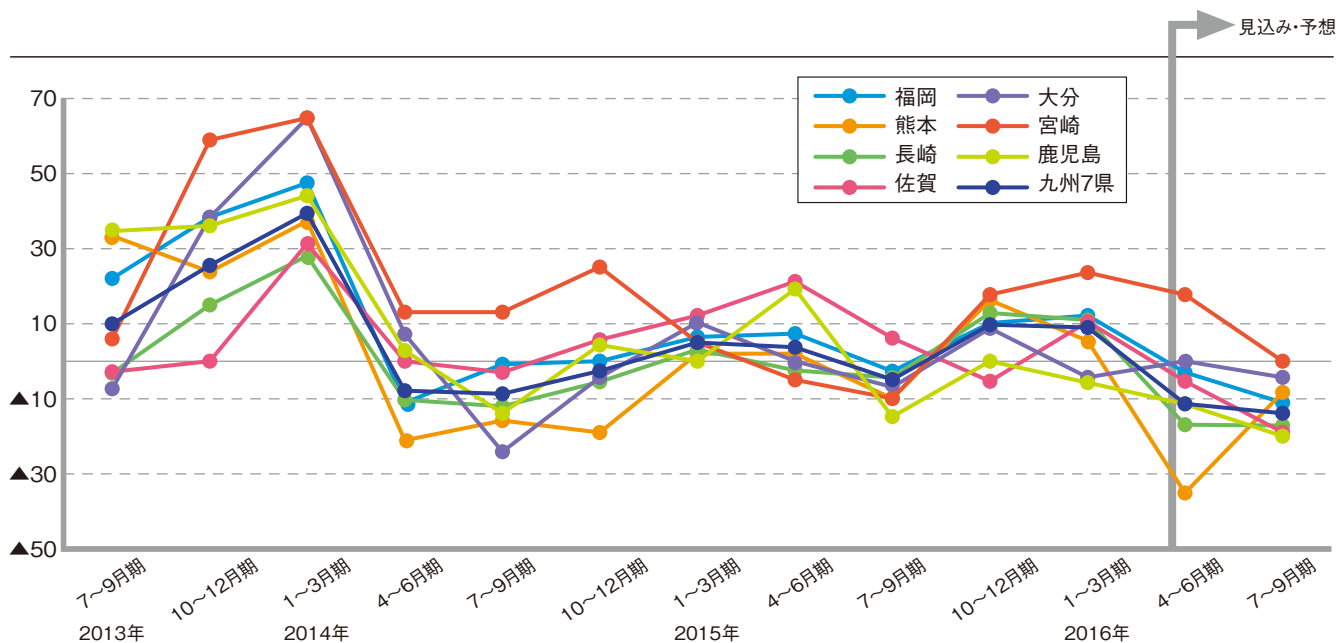
九州7県の企業(2,036社)を対象とした「企業動向調査アンケート(2016年7月実施)」を基に、7県企業の景況感についてレポートします。



景況感の変化
(BSI調査)

2,036社への
アンケート結果より

BSIとは景気を判断する上での指数の一つで、アンケート調査において「良い」と回答した企業割合から「悪い」と回答した企業割合を差し引いた指数です



▲図1 九州7県の業況BSIの推移(全産業)

【調査の概要】

1. 調査対象

- (1) 福岡県、熊本県、長崎県、佐賀県、大分県、宮崎県、鹿児島県の7県に所在する企業
- (2) 7県の業種別構成比を基に無作為抽出
- | 県 | 企業数 | (回答企業) | (回収率) |
|------|------|--------|-------|
| 福岡県 | 397社 | 100社 | 25.2% |
| 熊本県 | 221社 | 38社 | 17.2% |
| 長崎県 | 440社 | 166社 | 37.7% |
| 佐賀県 | 243社 | 38社 | 15.6% |
| 大分県 | 244社 | 23社 | 9.4% |
| 宮崎県 | 245社 | 17社 | 6.9% |
| 鹿児島県 | 246社 | 35社 | 14.2% |

2. 調査時点:2016年6月中旬～7月上旬

3. 調査方法

- (1) 調査対象期間
2015年10～12月期:実績、2016年1～3月期:実績、16年4～6月期:見込み、16年7～9月期:予想
- (2) 分析方法
各期について、前年同期と比較して業況が「良い」と答えた企業割合から「悪い」と答えた企業割合を差し引いた指数(BSI)を基に経済動向を予測

業 種	企業数	構成比(%)	業 種	企業数	構成比(%)
食料品	26	6.2	漁業	3	0.7
繊維製品	4	1.0	建設業	70	16.8
化学・石油製品	16	3.8	卸売業	47	11.3
窯業・土石・生コン	24	5.8	小売業	45	10.8
鉄鋼・非鉄	16	3.8	不動産業	16	3.8
金属製品	21	5.0	運輸・倉庫業	30	7.2
一般機械	15	3.6	ホテル・旅館業	9	2.2
電子部品・電気機械	8	1.9	サービス業	38	9.1
輸送用機械	18	4.3	合計	417	100.0
その他製造業	11	2.6			

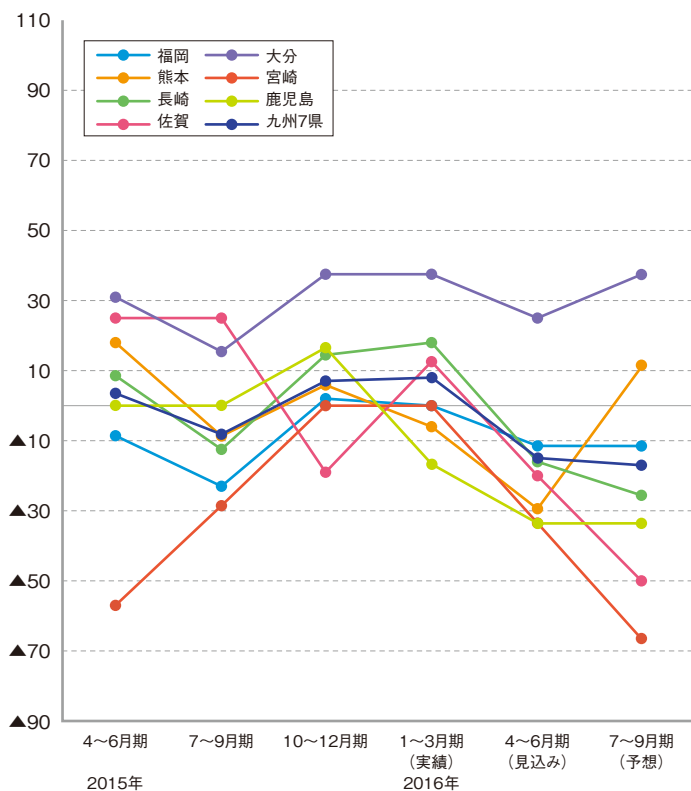
▲表1 回答企業の業種別構成

7県企業の景況感

内閣府が公表した2016年1～3月期のGDP(2次速報値)は、物価変動を除いた実質成長率が前期比+0.5%(年率1.9%)と、2四半期ぶりにプラス成長となりました(前年同期比の実質成長率は+0.1%)が、4月以降は熊本地震の発生により、熊本・大分両県を中心に九州の景気は大きく下押しされています。

そうした中、九州7県の業況BSI(改善＝悪化)を見てみると、「16年1～3月期(以下、実績)」は+9(前期比▲1)、「4～6月期(以下、見込み)」は▲11(同▲20)、「7～9月期(以下、予想)」は▲14(同▲3)となりました。実績はプラスとなったものの、見込み・予想は大きくマイナスとなっており、熊本地震が企業の景況感にも大きな影響を及ぼしていることが伺えます。

県別に業況BSIの推移(実績↓見込み↓予想)を見てみると、福岡県は+12↓▲3↓▲11、熊本県は+5↓▲35↓▲8、長崎県は+

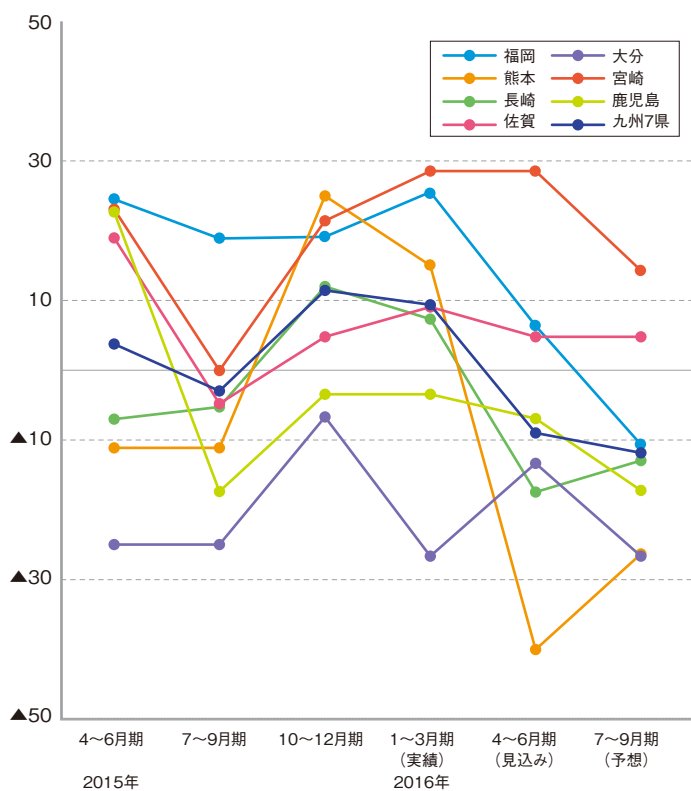


▲図2 九州7県の業況BSIの推移(製造業)

11 ↓ ▲17 ↓ ▲17、佐賀県は+11 ↓
 ▲5 ↓ ▲19、大分県は▲4 ↓ ±0 ↓
 ▲4、宮崎県は+24 ↓ +18 ↓ ±0、
 鹿児島県は▲6 ↓ ▲11 ↓ ▲20と、
 見込みや予想については地震の影響
 が大きかった熊本県を中心に全
 体的に大きく悪化しています。

製造業 熊本地震の影響により 弱含んでいる

製造業の業況BSIの実績を
 見ると、福岡県は±0(前期比▲
 2)、熊本県は▲6(同▲12)、長崎
 県は+18(同+4)、佐賀県は+13
 (同+31)、大分県は+38(同±0)、
 宮崎県は±0(同±0)、鹿児島県
 は▲17(同▲33)となっています。
 見込みは7県全てで悪化し、予



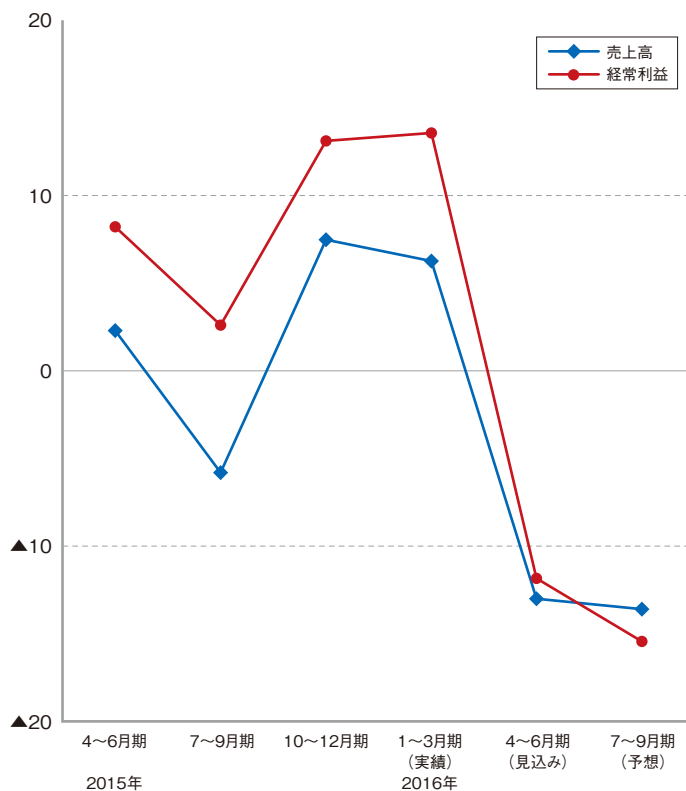
▲図3 九州7県の業況BSIの推移(非製造業)

想は熊本地震からの復興に向けた
 動きが期待される熊本県と大分県
 は改善傾向にある一方、その他の
 5県は今年に入り急激に進んでい
 る円高等を背景にした先行き懸念
 から悪化もしくは横ばいとなって
 います。
 見込みを業種別に見ると、電子
 部品・電気機械を除く全ての業種で
 悪化しており、熊本地震の影響を
 大きく受けたことが分かります。

非製造業 熊本地震の影響により 弱含んでいる

非製造業の業況BSIの実績
 を見ると、福岡県は+26(前期比+
 6)、熊本県は+15(同▲10)、長崎
 県は+7(同▲5)、佐賀県は+9
 (同+4)、大分県は▲27(同▲20)、
 宮崎県は+29(同▲7)、鹿児島県
 は▲3(同±0)となっています。
 見込みは、大分県が改善、宮崎

県が横ばい、その他の5県が悪化しました。見込みを業種別に見ると、ホテル・旅館業が▲56（同▲122）、サービス業が▲18（同▲34）となる等、観光関連の業種を中心に熊本地震の影響を大きく受けていることが伺えます。ただ、観光関連の業種については、九州への観光客を呼び戻すために7月から開始された「九州ふっこう割（九州での宿泊料が最大7割引となる）」が即日完売するなど大反響となっており、今後大きく改善していくこ

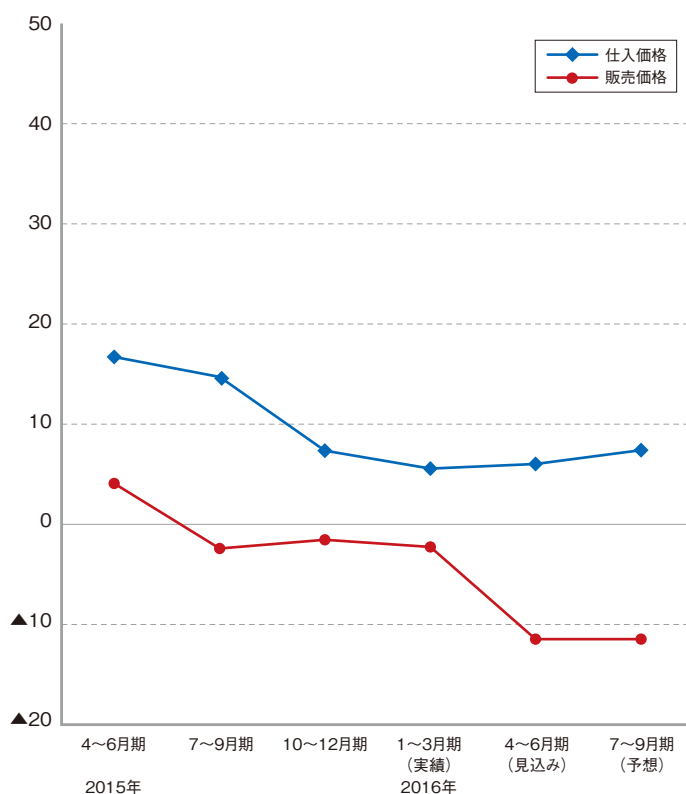


▲図4 売上高BSI、経常利益BSIの推移

とが期待されます。

売上高、経常利益 熊本地震の影響により、 大きく悪化している

売上高BSI（増加―減少）を見ると、実績は+6（前期比▲1）、見込みは▲13（同▲19）と悪化しています。見込みを業種別に見ると、ホテル・旅館業が▲56（同▲122）と、熊本地震の影響による観光客減少が売上高BSIの大幅な悪化に繋がっています。



▲図5 仕入価格BSI、販売価格BSIの推移

経常利益BSI（増加―減少）を見ると、実績は+14（前期比+1）、見込みは▲12（同▲25）となり、売上高同様に悪化しています。見込みを業種別に見ると、ホテル・旅館業や運輸・倉庫業、サービス業など多くの業種で悪化が目立ちます。

仕入価格、販売価格 販売価格は下落

仕入価格BSI（上昇―低下）の実績は+6（前期比▲2）、見込み

は+6（同+1）、予想は+7（同+1）と、今年に入って円安が一服したことで、仕入れ価格が安定してきていることが伺えます。仕入価格が安定する一方で、販売価格BSI（上昇―低下）の実績は▲2（前期比▲1）、見込みは▲12（同▲9）、予想は▲12（同±0）と、販売価格は下落基調にあり、企業収益への影響が懸念されます。

（下田 大氣）

業況BSIの詳細

(単位:%、ポイント)

福岡県	2015年10～12期(実績)				2016年1～3期(実績)				差異	2016年4～6期(見込み)				差異	2016年7～9期(予想)				差異
	改善	不変	悪化	BSI	改善	不変	悪化	BSI		改善	不変	悪化	BSI		改善	不変	悪化	BSI	
全産業	37.4	35.4	27.3	10.1	39.4	33.3	27.3	12.1	2.0	30.3	36.4	33.3	▲3.0	▲15.2	19.2	50.5	30.3	▲11.1	▲8.1
製造業	34.6	32.7	32.7	1.9	36.5	26.9	36.5	0.0	▲1.9	30.8	26.9	42.3	▲11.5	▲11.5	23.1	42.3	34.6	▲11.5	0.0
食料品	75.0	25.0	0.0	75.0	75.0	25.0	0.0	75.0	0.0	75.0	25.0	0.0	75.0	0.0	50.0	50.0	0.0	50.0	▲25.0
化学・石油製品	50.0	50.0	0.0	50.0	30.0	40.0	30.0	0.0	▲50.0	30.0	30.0	40.0	▲10.0	▲10.0	30.0	40.0	30.0	0.0	10.0
土石・生コン	0.0	28.6	71.4	▲71.4	0.0	28.6	71.4	▲71.4	0.0	14.3	28.6	57.1	▲42.9	28.6	0.0	57.1	42.9	▲42.9	0.0
鉄鋼・非鉄	14.3	42.9	42.9	▲28.6	28.6	42.9	28.6	0.0	28.6	14.3	42.9	42.9	▲28.6	▲28.6	28.6	57.1	14.3	14.3	42.9
金属製品	11.1	22.2	66.7	▲55.6	11.1	22.2	66.7	▲55.6	0.0	11.1	11.1	77.8	▲66.7	▲11.1	11.1	22.2	66.7	▲55.6	11.1
一般機械	33.3	50.0	16.7	16.7	50.0	33.3	16.7	33.3	16.7	33.3	16.7	50.0	▲16.7	▲50.0	16.7	50.0	33.3	▲16.7	0.0
電子部品・電気機械	33.3	0.0	66.7	▲33.3	33.3	0.0	66.7	▲33.3	0.0	66.7	0.0	33.3	33.3	66.7	66.7	0.0	33.3	33.3	0.0
輸送用機械	83.3	16.7	0.0	83.3	100.0	0.0	0.0	100.0	16.7	50.0	50.0	0.0	50.0	▲50.0	16.7	50.0	33.3	▲16.7	▲66.7
非製造業	40.4	38.3	21.3	19.1	42.6	40.4	17.0	25.5	6.4	29.8	46.8	23.4	6.4	▲19.1	14.9	59.6	25.5	▲10.6	▲17.0
建設業	18.8	62.5	18.8	0.0	43.8	56.3	0.0	43.8	43.8	37.5	62.5	0.0	37.5	▲6.3	18.8	68.8	12.5	6.3	▲31.3
卸売業	22.2	44.4	33.3	▲11.1	22.2	66.7	11.1	11.1	22.2	11.1	66.7	22.2	▲11.1	▲22.2	0.0	88.9	11.1	▲11.1	0.0
小売業	71.4	14.3	14.3	57.1	42.9	14.3	42.9	0.0	▲57.1	57.1	0.0	42.9	14.3	14.3	14.3	42.9	42.9	▲28.6	▲42.9
不動産業	66.7	33.3	0.0	66.7	33.3	33.3	33.3	0.0	▲66.7	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	33.3	66.7	0.0	33.3	33.3
運輸・倉庫業	42.9	14.3	42.9	0.0	42.9	14.3	42.9	0.0	0.0	0.0	42.9	57.1	▲57.1	▲57.1	0.0	28.6	71.4	▲71.4	▲14.3
ホテル・旅館業	100.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0
サービス業	75.0	25.0	0.0	75.0	75.0	25.0	0.0	75.0	0.0	25.0	50.0	25.0	0.0	▲75.0	25.0	50.0	25.0	0.0	0.0

(単位:%、ポイント)

熊本県	2015年10～12期(実績)				2016年1～3期(実績)				差異	2016年4～6期(見込み)				差異	2016年7～9期(予想)				差異
	改善	不変	悪化	BSI	改善	不変	悪化	BSI		改善	不変	悪化	BSI		改善	不変	悪化	BSI	
全産業	32.4	51.4	16.2	16.2	29.7	45.9	24.3	5.4	▲10.8	21.6	21.6	56.8	▲35.1	▲40.5	36.1	19.4	44.4	▲8.3	26.8
製造業	29.4	47.1	23.5	5.9	17.6	58.8	23.5	▲5.9	▲11.8	23.5	23.5	52.9	▲29.4	▲23.5	41.2	29.4	29.4	11.8	41.2
食料品	66.7	33.3	0.0	66.7	66.7	33.3	0.0	66.7	0.0	66.7	33.3	0.0	66.7	0.0	33.3	66.7	0.0	33.3	▲33.3
化学・石油製品	50.0	50.0	0.0	50.0	0.0	50.0	50.0	▲50.0	▲100.0	0.0	50.0	50.0	▲50.0	0.0	0.0	50.0	50.0	▲50.0	0.0
土石・生コン	0.0	66.7	33.3	▲33.3	0.0	100.0	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	66.7	▲33.3	▲33.3	100.0	0.0	0.0	100.0	133.3
金属製品	0.0	66.7	33.3	▲33.3	0.0	66.7	33.3	▲33.3	0.0	0.0	0.0	100.0	▲100.0	▲66.7	33.3	0.0	66.7	▲33.3	66.7
一般機械	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	▲100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
電子部品・電気機械	50.0	50.0	0.0	50.0	50.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	50.0	▲50.0	▲100.0	0.0	50.0	50.0	▲50.0	0.0
輸送用機械	0.0	33.3	66.7	▲66.7	0.0	33.3	66.7	▲66.7	0.0	33.3	0.0	66.7	▲33.3	33.3	66.7	0.0	33.3	33.3	66.7
非製造業	35.0	55.0	10.0	25.0	40.0	35.0	25.0	15.0	▲10.0	20.0	20.0	60.0	▲40.0	▲55.0	31.6	10.5	57.9	▲26.3	13.7
建設業	50.0	25.0	25.0	25.0	50.0	25.0	25.0	25.0	0.0	25.0	25.0	50.0	▲25.0	▲50.0	75.0	0.0	25.0	50.0	75.0
卸売業	50.0	50.0	0.0	50.0	50.0	25.0	25.0	25.0	▲25.0	25.0	25.0	50.0	▲25.0	▲50.0	25.0	25.0	50.0	▲25.0	0.0
小売業	0.0	80.0	20.0	▲20.0	20.0	40.0	40.0	▲20.0	0.0	20.0	20.0	60.0	▲40.0	▲20.0	25.0	0.0	75.0	▲50.0	▲10.0
不動産業	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
運輸・倉庫業	66.7	33.3	0.0	66.7	66.7	0.0	33.3	33.3	▲33.3	0.0	0.0	100.0	▲100.0	▲133.3	0.0	0.0	100.0	▲100.0	0.0
ホテル・旅館業	50.0	50.0	0.0	50.0	50.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	100.0	▲100.0	▲150.0	0.0	0.0	100.0	▲100.0	0.0
サービス業	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0

業況BSIの詳細

(単位:%、ポイント)

長 崎 県		2015年10～12期(実績)				2016年1～3期(実績)				差異	2016年4～6期(見込み)				差異	2016年7～9期(予想)				差異
		改善	不変	悪化	BSI	改善	不変	悪化	BSI		改善	不変	悪化	BSI		改善	不変	悪化	BSI	
全	産 業	33.5	45.7	20.7	12.8	33.9	43.0	23.0	10.9	▲1.9	18.8	45.5	35.8	▲17.0	▲27.9	14.7	53.4	31.9	▲17.2	▲0.2
	製 造 業	35.7	42.9	21.4	14.3	42.9	32.1	25.0	17.9	3.6	23.2	37.5	39.3	▲16.1	▲33.9	14.5	45.5	40.0	▲25.5	▲9.4
	食料品	50.0	33.3	16.7	33.3	33.3	50.0	16.7	16.7	▲16.7	0.0	33.3	66.7	▲66.7	▲83.3	0.0	40.0	60.0	▲60.0	6.7
	繊維製品	0.0	100.0	0.0	0.0	33.3	66.7	0.0	33.3	33.3	0.0	66.7	33.3	▲33.3	▲66.7	0.0	100.0	0.0	0.0	33.3
	窯業	50.0	50.0	0.0	50.0	75.0	25.0	0.0	75.0	25.0	0.0	75.0	25.0	▲25.0	▲100.0	0.0	75.0	25.0	▲25.0	0.0
	土石・生コン	50.0	20.0	30.0	20.0	30.0	20.0	50.0	▲20.0	▲40.0	20.0	20.0	60.0	▲40.0	▲20.0	0.0	30.0	70.0	▲70.0	▲30.0
	鉄鋼・非鉄	25.0	37.5	37.5	▲12.5	75.0	0.0	25.0	50.0	62.5	37.5	12.5	50.0	▲12.5	▲62.5	37.5	25.0	37.5	0.0	12.5
	金属製品	20.0	60.0	20.0	0.0	40.0	40.0	20.0	20.0	20.0	20.0	40.0	40.0	▲20.0	▲40.0	20.0	40.0	40.0	▲20.0	0.0
	一般機械	66.7	33.3	0.0	66.7	0.0	33.3	66.7	▲66.7	▲133.3	0.0	66.7	33.3	▲33.3	33.3	0.0	66.7	33.3	▲33.3	0.0
	電子部品・電気機械	0.0	0.0	100.0	▲100.0	0.0	0.0	100.0	▲100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	200.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	輸送用機械	37.5	50.0	12.5	25.0	50.0	37.5	12.5	37.5	12.5	37.5	50.0	12.5	25.0	▲12.5	25.0	50.0	25.0	0.0	▲25.0
	その他製造業	25.0	50.0	25.0	0.0	37.5	50.0	12.5	25.0	25.0	37.5	37.5	25.0	12.5	▲12.5	12.5	50.0	37.5	▲25.0	▲37.5
	非 製 造 業	32.4	47.2	20.4	12.0	29.4	48.6	22.0	7.3	▲4.7	16.5	49.5	33.9	▲17.4	▲24.8	14.8	57.4	27.8	▲13.0	4.5
	漁業	33.3	66.7	0.0	33.3	66.7	33.3	0.0	66.7	33.3	66.7	33.3	0.0	66.7	0.0	0.0	66.7	33.3	▲33.3	▲100.0
	建設業	24.0	56.0	20.0	4.0	28.0	56.0	16.0	12.0	8.0	12.5	62.5	25.0	▲12.5	▲24.5	20.8	66.7	12.5	8.3	20.8
	卸売業	45.8	45.8	8.3	37.5	30.8	46.2	23.1	7.7	▲29.8	15.4	57.7	26.9	▲11.5	▲19.2	15.4	61.5	23.1	▲7.7	3.8
	小売業	35.0	30.0	35.0	0.0	15.8	42.1	42.1	▲26.3	▲26.3	20.0	35.0	45.0	▲25.0	1.3	20.0	55.0	25.0	▲5.0	20.0
	不動産業	25.0	75.0	0.0	25.0	0.0	100.0	0.0	0.0	▲25.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	運輸・倉庫業	44.4	33.3	22.2	22.2	33.3	33.3	33.3	0.0	▲22.2	22.2	44.4	33.3	▲11.1	▲11.1	22.2	22.2	55.6	▲33.3	▲22.2
	ホテル・旅館業	60.0	20.0	20.0	40.0	80.0	20.0	0.0	80.0	40.0	20.0	0.0	80.0	▲60.0	▲140.0	0.0	20.0	80.0	▲80.0	▲20.0
	サービス業	11.1	61.1	27.8	▲16.7	27.8	55.6	16.7	11.1	27.8	11.1	44.4	44.4	▲33.3	▲44.4	5.9	58.8	35.3	▲29.4	3.9

(単位:%、ポイント)

佐 賀 県		2015年10～12期(実績)				2016年1～3期(実績)				差異	2016年4～6期(見込み)				差異	2016年7～9期(予想)				差異
		改善	不変	悪化	BSI	改善	不変	悪化	BSI		改善	不変	悪化	BSI		改善	不変	悪化	BSI	
全	産 業	24.3	45.9	29.7	▲5.4	34.2	42.1	23.7	10.5	15.9	27.0	40.5	32.4	▲5.4	▲15.9	18.9	43.2	37.8	▲18.9	▲13.5
	製 造 業	18.8	43.8	37.5	▲18.8	37.5	37.5	25.0	12.5	31.3	18.8	43.8	37.5	▲18.8	▲31.3	6.3	37.5	56.3	▲50.0	▲31.3
	食料品	16.7	50.0	33.3	▲16.7	66.7	33.3	0.0	66.7	83.3	50.0	33.3	16.7	33.3	▲33.3	16.7	50.0	33.3	▲16.7	▲50.0
	繊維製品	100.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	▲100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	化学・石油製品	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	▲100.0	▲100.0	0.0	0.0	100.0	▲100.0	0.0
	鉄鋼・非鉄	100.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	▲100.0	0.0	0.0	100.0	▲100.0	▲100.0
	金属製品	0.0	25.0	75.0	▲75.0	0.0	50.0	50.0	▲50.0	25.0	0.0	25.0	75.0	▲75.0	▲25.0	0.0	25.0	75.0	▲75.0	0.0
	一般機械	0.0	0.0	100.0	▲100.0	0.0	0.0	100.0	▲100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	▲100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	▲100.0	0.0
	電子部品・電気機械	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	▲100.0	▲100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	その他製造業	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	▲100.0	▲100.0
	非 製 造 業	28.6	47.6	23.8	4.8	31.8	45.5	22.7	9.1	4.3	33.3	38.1	28.6	4.8	▲4.3	28.6	47.6	23.8	4.8	0.0
	建設業	0.0	83.3	16.7	▲16.7	16.7	50.0	33.3	▲16.7	0.0	50.0	33.3	16.7	33.3	50.0	50.0	33.3	16.7	33.3	0.0
	卸売業	100.0	0.0	0.0	100.0	50.0	50.0	0.0	50.0	▲50.0	50.0	50.0	0.0	50.0	0.0	50.0	50.0	0.0	50.0	0.0
	小売業	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	50.0	▲50.0	▲50.0	50.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	不動産業	33.3	0.0	66.7	▲33.3	33.3	33.3	33.3	0.0	33.3	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	66.7	0.0	33.3	33.3	33.3
	運輸・倉庫業	66.7	33.3	0.0	66.7	100.0	0.0	0.0	100.0	33.3	33.3	33.3	33.3	0.0	▲100.0	0.0	66.7	33.3	▲33.3	▲33.3
	ホテル・旅館業	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	▲100.0	▲100.0	0.0	0.0	100.0	▲100.0	0.0
	サービス業	0.0	75.0	25.0	▲25.0	0.0	75.0	25.0	▲25.0	0.0	0.0	75.0	25.0	▲25.0	0.0	0.0	75.0	25.0	▲25.0	0.0

業況BSIの詳細

(単位:%、ポイント)

大分県	2015年10～12期(実績)				2016年1～3期(実績)				差異	2016年4～6期(見込み)				差異	2016年7～9期(予想)				差異
	改善	不変	悪化	BSI	改善	不変	悪化	BSI		改善	不変	悪化	BSI		改善	不変	悪化	BSI	
全産業	21.7	65.2	13.0	8.7	21.7	52.2	26.1	▲4.3	▲13.0	30.4	39.1	30.4	0.0	4.3	21.7	52.2	26.1	▲4.3	▲4.3
製造業	37.5	62.5	0.0	37.5	37.5	62.5	0.0	37.5	0.0	50.0	25.0	25.0	25.0	▲12.5	37.5	62.5	0.0	37.5	12.5
食料品	100.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0
化学・石油製品	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
一般機械	66.7	33.3	0.0	66.7	33.3	66.7	0.0	33.3	▲33.3	33.3	33.3	33.3	0.0	▲33.3	33.3	66.7	0.0	33.3	33.3
電子部品・電気機械	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0
輸送用機械	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
非製造業	13.3	66.7	20.0	▲6.7	13.3	46.7	40.0	▲26.7	▲20.0	20.0	46.7	33.3	▲13.3	13.3	13.3	46.7	40.0	▲26.7	▲13.3
建設業	33.3	33.3	33.3	0.0	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	33.3	66.7	0.0	33.3	33.3	0.0	33.3	66.7	▲66.7	▲100.0
卸売業	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	▲100.0	▲100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0
小売業	0.0	80.0	20.0	▲20.0	0.0	20.0	80.0	▲80.0	▲60.0	20.0	40.0	40.0	▲20.0	60.0	40.0	40.0	20.0	20.0	40.0
不動産業	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
運輸・倉庫業	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
サービス業	33.3	33.3	33.3	0.0	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	66.7	▲33.3	▲33.3	0.0	0.0	100.0	▲100.0	▲66.7

(単位:%、ポイント)

宮崎県	2015年10～12期(実績)				2016年1～3期(実績)				差異	2016年4～6期(見込み)				差異	2016年7～9期(予想)				差異
	改善	不変	悪化	BSI	改善	不変	悪化	BSI		改善	不変	悪化	BSI		改善	不変	悪化	BSI	
全産業	35.3	47.1	17.6	17.6	35.3	52.9	11.8	23.5	5.9	47.1	23.5	29.4	17.6	▲5.9	29.4	41.2	29.4	0.0	▲17.6
製造業	33.3	33.3	33.3	0.0	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	66.7	▲33.3	▲33.3	0.0	33.3	66.7	▲66.7	▲33.3
食料品	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	▲100.0	0.0	0.0	100.0	▲100.0	▲100.0	0.0	0.0	100.0	▲100.0	0.0
その他製造業	0.0	50.0	50.0	▲50.0	50.0	0.0	50.0	0.0	50.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	▲50.0	▲50.0
非製造業	35.7	50.0	14.3	21.4	35.7	57.1	7.1	28.6	7.1	50.0	28.6	21.4	28.6	0.0	35.7	42.9	21.4	14.3	▲14.3
建設業	25.0	50.0	25.0	0.0	25.0	50.0	25.0	0.0	0.0	50.0	25.0	25.0	25.0	25.0	75.0	25.0	0.0	75.0	50.0
小売業	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	50.0	50.0	0.0	100.0	0.0	0.0	▲50.0
不動産業	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
運輸・倉庫業	66.7	0.0	33.3	33.3	66.7	33.3	0.0	66.7	33.3	66.7	0.0	33.3	33.3	▲33.3	33.3	33.3	33.3	0.0	▲33.3
サービス業	66.7	33.3	0.0	66.7	66.7	33.3	0.0	66.7	0.0	66.7	0.0	33.3	33.3	▲33.3	33.3	0.0	66.7	▲33.3	▲66.7

(単位:%、ポイント)

鹿児島県	2015年10～12期(実績)				2016年1～3期(実績)				差異	2016年4～6期(見込み)				差異	2016年7～9期(予想)				差異
	改善	不変	悪化	BSI	改善	不変	悪化	BSI		改善	不変	悪化	BSI		改善	不変	悪化	BSI	
全産業	20.0	60.0	20.0	0.0	20.0	54.3	25.7	▲5.7	▲5.7	20.0	48.6	31.4	▲11.4	▲5.7	11.4	57.1	31.4	▲20.0	▲8.6
製造業	16.7	83.3	0.0	16.7	16.7	50.0	33.3	▲16.7	▲33.3	16.7	33.3	50.0	▲33.3	▲16.7	16.7	33.3	50.0	▲33.3	0.0
食料品	25.0	75.0	0.0	25.0	25.0	75.0	0.0	25.0	0.0	25.0	25.0	50.0	▲25.0	▲50.0	0.0	50.0	50.0	▲50.0	▲25.0
化学・石油製品	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	▲100.0	▲100.0	0.0	0.0	100.0	▲100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	▲100.0	0.0
一般機械	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	▲100.0	▲100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	100.0	100.0
非製造業	20.7	55.2	24.1	▲3.4	20.7	55.2	24.1	▲3.4	0.0	20.7	51.7	27.6	▲6.9	▲3.4	10.3	62.1	27.6	▲17.2	▲10.3
建設業	27.3	54.5	18.2	9.1	18.2	63.6	18.2	0.0	▲9.1	0.0	72.7	27.3	▲27.3	▲27.3	9.1	45.5	45.5	▲36.4	▲9.1
卸売業	0.0	60.0	40.0	▲40.0	40.0	20.0	40.0	0.0	40.0	40.0	20.0	40.0	0.0	0.0	0.0	60.0	40.0	▲40.0	▲40.0
小売業	0.0	50.0	50.0	▲50.0	0.0	50.0	50.0	▲50.0	0.0	50.0	50.0	0.0	50.0	100.0	25.0	75.0	0.0	25.0	▲25.0
不動産業	100.0	0.0	0.0	100.0	50.0	50.0	0.0	50.0	▲50.0	0.0	100.0	0.0	0.0	▲50.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
運輸・倉庫業	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
サービス業	20.0	60.0	20.0	0.0	20.0	60.0	20.0	0.0	0.0	40.0	0.0	60.0	▲20.0	▲20.0	20.0	60.0	20.0	0.0	20.0

特集②

Special feature

第24回

事業者アンケート

九州7県の企業(2,036社)を対象
としたアンケート「マイナス金利」
(2016年7月実施)の結果について
レポートします。



マイナス金利

マイナス金利

2016年2月、日本銀行は初めてマイナス金利政策を導入しました。

同政策は民間金融機関が日本銀行に預け入れる預金の金利をマイナスにすることで、金利全般を押し下げ、家計の消費や企業の投資を喚起して経済の活性化を図るために導入されました。実際に同政策の開始以降、長期金利(新発10年国債利回り)がマイナスに定着するなど、金利は大きく押し下げられています。

今回は、今後企業の事業環境等に大きな影響を及ぼす可能性がある同政策に対する期待や不安等についてアンケートを実施しました。

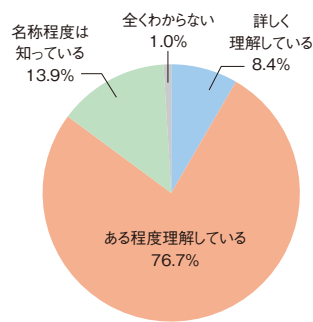
Q: 日本銀行が導入したマイナス金利政策の内容を理解していますか？

A: 約9割の企業が「詳しく（ある程度）理解している」と回答

マイナス金利政策の内容を理解しているか尋ねたところ、「詳しく理解している」が8・4%、「ある程度理解している」が76・7%と、理解していると回答した企業は全体

の85%にのびりました(図1)。同政策は過去にも例のない取り組みであり、金利の動向等を通して企業経営にも大きな影響を与える可能性があることから、企業の関心も高いことが伺えます。

▼図1 マイナス金利政策の内容を理解していますか？ n=417



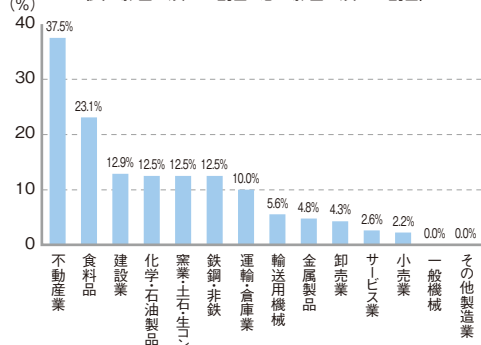
Q. マイナス金利政策は自社の事業環境に何かしらの影響を及ぼすと思いますか？

A:「どちらとも言えない」「分からない」が約8割

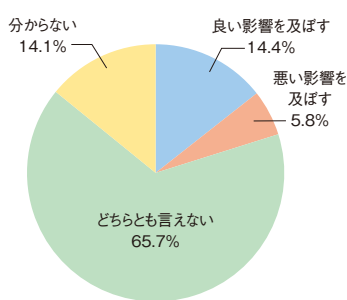
マインナス金利政策が自社の事業環境にどのような影響を及ぼすか尋ねたところ、「良い影響を及ぼす」が14.4%と「悪い影響を及ぼす」の5.8%を上回ったものの、全体の約8割は「どちらとも言えない」「分からない」と回答しています(図2)。

業種別に、「良い影響を及ぼす」と回答した割合と「悪い影響を及

▼図3 業種別影響度合い
(良い影響を及ぼす割合－悪い影響を及ぼす割合) n=417



▼図2 マイナス金利政策が
自社に与える影響 n=417



ぼす」と回答した割合の差を見てみると、「不動産業」が37.5%と最も高くなっています。不動産業は資金調達を借入金に依存する割合が高い業種であること、および住宅ローン金利の低下により顧客の住宅購入の活性化が期待されることなどから、マイナス金利政策に対して大きな期待を抱いていることが伺えます(図3)。

**Q: マイナス金利政策により、具体的にどのような影響があると思いますか？
(複数回答・3つまで)**

A. 約3分の2の企業が「支払利息の減少」と回答

マイナス金利政策による具体的な影響について尋ねると、プラスの面では「金融機関からの借入金利低下（支払利息の減少）」が65.5%と最も多く、次いで「資金調達の容易化（金融機関による融資の積極化）」が36.0、「個人顧客による消費（住宅購入を含む）の活性化」が17.1%と続きました。一方、マイナスの面では「預金金利の低下（受取利息の減少）」が42.8%と最も多く、次いで「生命保険・年金保険の保険料値上がり」が19.9%、「企業年金等の運用利回りの悪化」が18.6%となりました。

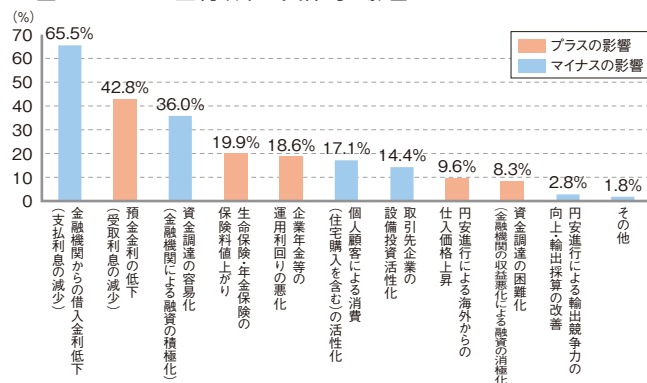
また、問2で「良い影響を及ぼす」と回答した企業に絞って本質門への回答結果を見ると、「金融機関からの借入金利低下(支払利息の減少)」との回答が85・0%に上りました。

マイナス金利政策を受けて現在までに具体的な行動に着手したかどうか尋ねたところ、全体では「特に何も行っていない」が81.0%と大半を占め、「借入金を増やして投資（設備・雇用）を行った」が8.9%、「既存借入金の借換を実施した」が7.2%となりました（図5）。

Q. マイナス金利政策を受けて現在までに具体的な行動に着手しましたか？（複数回答）

A. 8割超の企業が「特に何も行っていない」と回答

▼図4 マイナス金利政策の具体的な影響 n=397

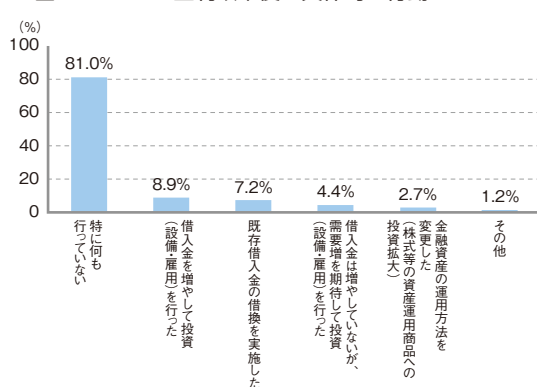


Q. マイナス金利政策を受けて今後の経営方針に変更はありますか？（複数回答）

A. 8割弱の企業が「特に無い」と回答

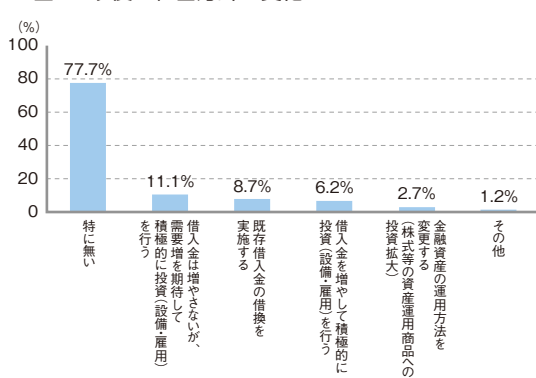
マイナス金利政策を受けて今後

▼図5 マイナス金利政策後の具体的な行動 n=405



「借入金を増やして投資（設備・雇用）を行った」と回答した割合について業種別に見ると、「運輸・倉庫業」が32.1%と最も高く、次いで「不動産業」「化学・石油製品」が25.0%、「ホテル・旅館業」が22.2%となりました。設備投資に大きな金額を要する業種が、金利の低下を活かして、積極的に設備投資を行っていることが伺えます。

▼図6 今後の経営方針の変化 n=404



の経営方針に変更があるか尋ねたところ、「特に無い」が77.7%と大半を占め、次いで「借入金は増やさないが、需要増を期待して積極的に投資（設備・雇用）を行う」が11.1%、「既存借入金の借換を実施する」が8.7%、「借入金を増やして積極的に投資（設備・雇用）を行う」が6.2%となりました。

「不動産」等の一部業種においては、経営方針を変更する意向を有した企業の割合が高くなっていますが、現状では借入金を増やして設備投資等を積極的に実施しようと考えている企業は少数にとどまっています。

終わりに

今回の調査では、マイナス金利政策の認知度は高かったものの、まだマイナス金利政策が導入されて半年程度ということもあり、その効果が見られるのは不動産業等の一部業種にとどまっており、借入金を増やして設備投資等を積極的に実施しようと考えている企業も少数にとどまるなど、企業の投資等の全体的な底上げには繋がっていないようです。ただ、マイナス金利政策による借入金金利の低下を期待している企業は業種を問わず多くなっており、今後、低金利を活かした設備投資の活性化等、同政策の効果が幅広い業種に波及していくことが期待されます。

（下田 大氣）



なるほど！